

令和7年度

広島県立教育センター

研究事業成果発表会

令和8年2月6日(金)

13:30～16:30

会場：広島県立教育センター
対面及びリアルタイムオンライン

教師の「学ぶ」が、
未来の教育をつくる

13:40～14:30

「学び続ける教師」が
育つ学校」の在り方に
関する研究(一年次)

— OJL(On-the-
Job-Learning)ガイ
ドブックの作成を通し
て —

【企画部】

研究指導者

広島大学大学院
人間社会科学研究科
准教授 米沢 崇 氏

14:30～15:20

教師一人一人が学び続
けるための研究授業の
在り方(高等学校)
(二年次)

— 研究授業における
授業参観者の関わりに
着目して —

【教科教育部】

研究指導者

福井大学大学院
連合教職開発研究科
教授・研究科長 木村 優 氏

15:30～16:20

通常の学級における学
習上の困難さのある児
童生徒への必要な教育
的支援の在り方
(二年次)

— 「もしもシート」の開
発と活用を通して —

【特別支援教育・教育相談部】

研究指導者

独立行政法人国立特別支
援教育総合研究所
総括研究員 大崎博史 氏

【参加申込】 次のURL 又は二次元コードからお申込みください。

申込期間：令和7年 10月1日(水)～令和8年1月23日(金)

<https://forms.gle/C5fSF9fKk8TbUUUr9>



広島県立教育センター

〒739-0144 広島県東広島市八本松南一丁目2-1
電話(082)428-2631(代表) FAX(082)428-7100
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/educenter/>





成果発表Ⅰ【企画部】13 : 40～14 : 30

「学び続ける教師」が育つ学校」の在り方に関する研究

（二年計画の一年次）

— OJL(On-the-Job-Learning)ガイドブックの作成を通して —

「令和の日本型学校教育」において、教師の学びの多様性や現場の経験を重視した協働的な学びの重要性が示されました。求められているのは「「学び続ける教師」が育つ学校」の実現です。本研究では、このコンセプトを踏まえ、教師相互の学び合いに焦点を当てた「OJL(On-the-Job-Learning)ガイドブック」について提案します。

成果発表Ⅱ【教科教育部】14 : 30～15 : 20

教師一人一人が学び続けるための研究授業の在り方(高等学校)

（三年計画の二年次）

— 研究授業における授業参観者の関わりに着目して —

研究授業をもっと教師一人一人の学びにつなげていくために、研究授業をアップデートしませんか？ そのためのポイントである、授業参観者が主体となって「授業を見る視点を明らかにすること」「教師間のネットワークを豊かにすること」について、研究協力校における取組内容を踏まえて提案します。

成果発表Ⅲ【特別支援教育・教育相談部】15 : 30～16 : 20

通常の学級における学習上の困難さのある児童生徒への必要な教育的支援の在り方

（二年計画の二年次）

— 「もしもシート」の開発と活用を通して —



学習上の困難さのある児童生徒は授業のどこで困っているのか、そして、どんな方法が学びやすいのか…児童生徒の思いや願い「子供の声」を聞くことから支援をはじめてみませんか？そのツールとしての「もしもシート」と支援のプロセスについて提案します。